

南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会について

◆目的

最新の知見を有する学識経験者の参画を得て、科学的、客観的な立場から南海トラフ巨大地震に対する災害対策等を検討し、大阪府地域防災計画の修正に反映させる。

◆役割

国が示す南海トラフ巨大地震の被害想定を検証し、市町村ごとの詳細な被害想定を明らかにして、災害対策の方向性等を検討する。

(具体的検討項目)

- 国の被害想定を検証
- 府内市町村ごとの詳細な被害想定（地震動、津波の高さ、人的被害、建物被害等）
- 被害想定に対する災害対策の方向性

◆構成員（H24.11.8現在）

- 関西大学社会安全学部 社会安全研究センター長・教授 河田恵昭（部会長）
- 京都大学防災研究所 教授 伊合 進
- 京都大学防災研究所 教授 岩田知孝
- 関西大学政策創造学部 教授 亀田健二
- 神戸大学大学院工学研究科 准教授 近藤民代
- 関西大学社会安全学部 教授 高橋智幸
- 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター長・教授 矢守克也

◆設置日 平成24年11月8日